知的財産推進計画2013 産学官連携関連事項の取組状況

知的財産戦略推進事務局

産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業

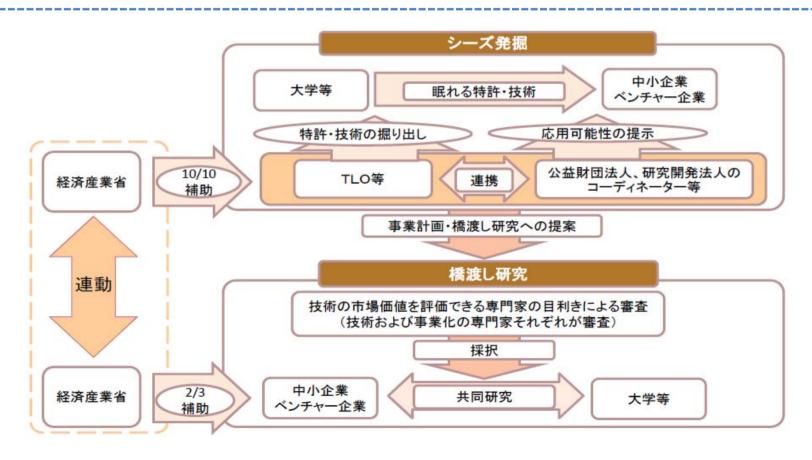
- 〇平成25年度より、大学・TLOなどの産学官連携活動の評価指標の結果の公表を促すとともに、産学連携活動の評価・実績に基づくPDCAサイクルや制度改革などに関するモデル拠点を創出する「産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業」を実施。
- 〇平成25年度に採択された12大学は、各大学の特色を踏まえた産学連携活動の指標を提案し、文部科学省と経済産業省が共同で開発した指標と併せて、客観的指標による産学連携活動の評価・改善のモデルケース作りを実施。
- 〇同時に、産学連携活動を促進するための大学における制度改革を実行。

平成25年度採択大学

東京大学	東京電機大学
東京医科歯科大学	電気通信大学
秋田大学	東京理科大学
大阪府立大学	京都工芸繊維大学
山梨大学	名古屋大学
立命館大学	北見工業大学

シーズ発掘・橋渡し研究事業/実施体制

- 〇シーズ発掘事業においては、大学等の技術シーズの掘り起こしを支援するとともに自 治体等によるマッチングを支援し、中小企業への技術移転を促進。
- ○発掘したシーズの事業化を促進するため、シーズ発掘と連動して、技術シーズの事業 化を目指す中小企業等の研究開発(橋渡し研究)を支援。
- 〇本事業を通じて、大学等から中小企業等への技術移転が促進され、中小企業・ベンチャー企業の新規事業・新産業の創出が加速することを期待。



研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)

〈事業の概要〉

- 我が国の産学連携活動の基盤となる技術移転プログラム(個々の企業の事業化構想の中で大学知財を活用するための開発を支援)。
- 課題や研究開発の特性に応じ、総合的かつ切れ目なく成果の実用化・事業化を促進。各ステージにおいて公募型の競争的 資金として実施。

ステージー

産学共同研究のシーズの苗床 【1年間の可能性の検証】

【大学等に研究費を配分】

- ○シーズ候補の可能性の探索
 - ·研究開発費:170万円
- ·期間:~1年

大学等の研究成果

【大学等と企業双方に研究費を配分】

- 〇シーズとしての実現可能性 を産学共同で検証
 - ·研究開発費:8百万円
 - ·期間:~1年

ステージⅡ

マッチングファンドによる実用化検証【3~4年の産学共同研究】

【大学等と企業双方に研究費を配分】

- ○実用性検証段階でリスクの 高い共同研究
- ·研究開発費:~60百万円
- ·期間:~3年
- ○実用化に向けた中核技術 構築のための共同研究開発
- •研究開発費:~3億円
- ·期間:~4年

ステージIII

実施料納付等による民間負担 【本格的な実用化開発】

【企業に研究費を配分】

- ○大学等の研究成果の実用 化開発を企業へ開発委託
- ·研究開発費:~20億円
- ·期間:~7年
- ①売上に応じた実施料を納付
- ②成功後、開発費全額を返済 (不成功時10%)

出口機能の強化

- 金融機関等との連携を 強化し有望なシーズへの 投融資を引き出す
- 企業同士でのビジネスマッチングを提供・紹介
- ・関係府省が実施する 産業界とつなぐ施策と 分野ごとに連携



起業挑戦

起業の可能性を検証

•開発費:基準額7.6百万円(+側面支援:4百万円)

·期間:~1年

成長力のあるベンチャー設立に向けた研究開発

- •開発費:~150百万円(+側面支援~15百万円)
- ·期間:~3年

3

研究成果を円滑に実用

大学等

(1)

研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)平成25年度新規採択件数

単位:件

探索	759
シーズ顕在化	109
起業挑戦	1
起業挑戦(若手起業育成)	1
ハイリスク挑戦	34
シーズ育成	22
創薬開発	1
中小・ベンチャー	7
計	934